

西 区

都市と農村が融合する，うるおいの
住環境と優れた学術環境に育まれるまち



西 区

区の概要

● 地 理

西区は、信濃川及び関屋分水路以西に位置し、坂井輪地区、西地区、黒埼地区で構成されています。区内は鉄道沿線や幹線道路沿いを中心に良好な住宅地が形成され、西には砂丘畑、南には田園地帯が広がり、都市部と農村部がバランスよく存在しています。(図1)また、河川・潟・海などの豊かな水環境に恵まれているとともに、大学などの学術研究機関が多くあります。(図2)

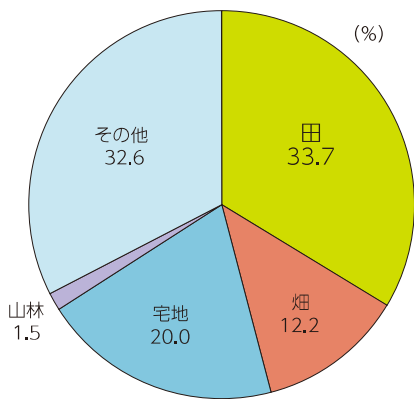
● 産 業

幹線道路沿いには、物流基地の流通センターや多くの商業店舗が立地しています。農業分野では、稲作を主体としながら畑作も盛んで、くろさき茶豆・新潟すいか・赤塚大根などが県内外に知られています。また、新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」などのブランド化が進められています。

● 交 通

主要道路は、区の東側を南北に北陸自動車道が通り、新潟西インターチェンジ・黒埼スマートインターチェンジ*があるほか、国道116号や国道8号・国道402号が通っています。鉄道は、市街地を東西に結び、JR越後線の駅が7つ設置されています。バス路線も主に東西に、市の中心部と結ばれていますが、南北のバス路線は住民バス*が担っています。

■ 図1 西区の土地利用割合

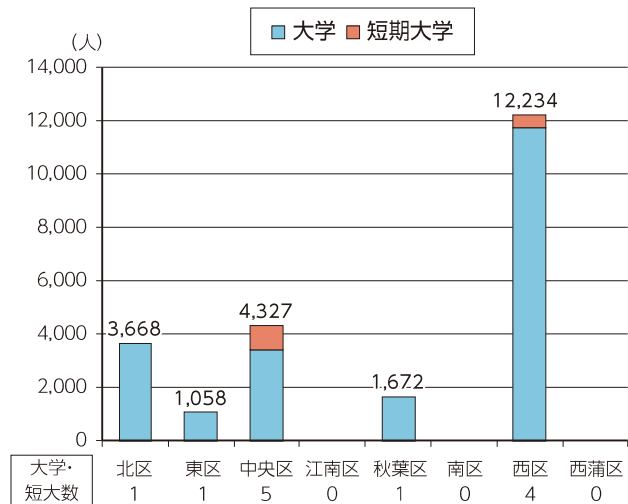


田畑の割合は45.9%、宅地の割合は20%です。なお、宅地面積は18.78km²で8区中1番広くなっています。

※その他：道路、公共施設、水面、自然地など

資料：新潟市資産評価課調べ(H26.1.1)

■ 図2 大学・短期大学在学学生数(区別)



大学・短期大学数は中央区に次いで2番目ですが、在学する学生数は8区中1番多くなっています。

資料：各校ホームページ(H26)

基本構想

基本計画

1 総論

2 本市を
取り巻く
状況

3 政策
・

4 区ビジョン
基本方針

附属資料

区の将来像

都市と農村が融合する，うるおいの住環境と優れた学術環境に育まれるまち

目指す区のすがた

● 人と人がつながり，安心・安全に暮らせるまち

- 地域のなかで人と人とのつながりを大切にし，区民が安心していつまでも元気で健康的に生活できるまちを目指します。
- 災害時に素早く対応するとともに被害の最小化を図り，災害に強い安心・安全なまちを目指します。

● 都市と農村が融合するまち

- 良質で魅力的な農産物の生産を進め，特産物のブランド化を推進します。また，特産物を県内外に発信し，さらに農商工連携*により付加価値を高めるとともに，商店街の活性化にもつなげていきます。
- 都市と農村が融合する西区の特性を活かして，生産と消費をつなぎ，さらなる一体感の醸成を図ります。

● だれもが学び合える学術と文化のまち

- だれもがいつでも学び合える環境や，学びを活かして地域に貢献できる環境づくりを推進します。
- 地域の文化や歴史を大切にし，新たな文化の創造を支援するとともに，スポーツの振興を図ります。

● 豊かな自然と快適な住環境を大切にするまち

- ラムサール条約*湿地である佐潟をはじめ，河川や海岸などの美しい景観を未来に引き継いでいきます。また，その自然を活かした観光や魅力あふれるスポットについて情報発信することにより交流人口*を増やし，活力のあるまちを目指します。
- うるおいのある快適な住環境づくりを推進し，明るい笑顔で住みたい・住んで良かったと思えるまちづくりに努めます。

*スマートインターチェンジ… ETC(自動料金支払いシステム)車両のみを対象としたインターチェンジ。利用車両が限定されており，簡易な料金所の設置で済み，料金徴収員の対応が不要なため，従来のインターチェンジに比べて低コストでの導入・運用が可能。

*住民バス… バス路線の廃止問題を抱える地区や公共交通空白・不便地域において，地元住民組織が主体となって運営する乗合輸送サービス。

*農商工連携… 地域の基幹産業である農林水産業，商業，工業等の産業間での連携。

*ラムサール条約… 正式名称は，「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」。締約国には，各湿地の管理計画の作成・実施，各条約湿地のモニタリング，湿地の保全に関する自然保護区の設定，湿地の保全管理に関する普及啓発・調査などが求められる。

*交流人口… 地域を訪れる人のこと。定住人口に対する概念。

● 地域と区役所が共に歩むまち

- 地域における自治を推進し、区民と区役所が協働*で地域課題に取り組む体制をさらに強化します。
- 区民が笑顔になれるように、区役所職員がおもてなしの精神で親切・丁寧なサービスを提供します。

大学生による楽器体験ワークショップ



西区新鮮あさ市



*協働…………… 市民と行政が、対等な関係で相互の立場や特性を理解し、目的を共有し、連携・協力すること。